

SISTERS ~隠された記憶~

2012~2015

R



SISTERS ～隠された記憶～ 2012～2015 **R**



本誌は2012年夏～2015年冬までに
コミックマーケットにて頒布された同人誌
「SISTERS～隠された記憶～」シリーズを
加筆、修正、再構成した総集編を
電子書籍化に伴い再度
加筆、修正を加えたものです。

















1989年

初夏

私ははじめて彼の家を訪れた。
西洋風のちょっと古風な洋館で
素敵な家だなと思った。

…その日の出来事は
決して他人には話せない
私と「彼」だけの秘密。

今の「彼」は忘れてしまっている
私だけの記憶。

しばらくお茶をして
世間話などをしていたが
会話が途切れたのを
きっかけに自然と
セックスの流れになった

は…

はあっ

春香…

はあっ

はあっ

約束

守ってきてくれた
みたいだね…

はあっ

下着着けずに
ここまで歩いてきたの…

んっ…

うん…

けいすけクンの
言ったとおり…

はあっ

私も彼も当然それを
期待していたし
そうするつもりでいた
今日は彼のお母さんが
夜遅いと知っていたからだ



ああ…
気持ちいいよ春香

春香…

もつと奥まで
啜えられる…？

えっ…

うん…いいよ
やってみるね…んふ…

んっ…

ぢゅ

ぢゅ

ぢゅ

ぢゅ

ぢゅ

んっ

んっ

ぢゅ

ぢゅ

んっ…けいすけの
オチンチン…

長くて…ちよつと喉に
つかえる…んむっ…んぐっ

春香…

固い…んっ…！

太くて長くて…

ぢゅ

ぢゅ

んぶっ…んくっ
…んっ…んんっ
けいすけのオチンチン
どんどん大きく
なってくるよ…んん

いっぱい出たね…

んふ…全部吸い取って
あげるね…んむ…むっ

ぷちゅ
ぢゅぷ

ぢゅぷ

春香のおしりの穴…

春香のアナルに
チンポ挿入たいんだ…

ぽろ
ぽろ

私…

この臭い…
好きかも…

春香…

前からお願いしてる
アレ…今日はいいい?

春香…

いい…かな?

…んっ…んむっ

ドキドキ

んぶっ…ぢゅ…ぢゅ…
んぢゅっ…んぶっ…んっ…

あつ…おっおっ！

けいすけのオチンチン
春香のお尻に挿入つて
きてるううっ！

おっ…

おっおっ

はっ

かく

かく

かく

ふっ

かく

おお…春香のアナル
キツくて最高だっ…

はっ

締め付けてくるっ！

はあっ

うああああつ！

けいすけのオチンチン…
おつきいいっ…おっ…おっ…
お尻の穴…裂けちゃうっ！

く…苦しい…おっ…
お尻こわれるっ…春香の
お尻こわれちゃうよおっ！

ぢゅぽ

ぢゅぽ

ぬぽ

ぐぽ





すごい
締め付け…

イキそうだった…!

ガ
ガ

あ

い

ああっ…!

いいよっ…
きてっ!

はっ

は

けいすけの
おちんちんミルク

はっ…春香のお尻の中に
いっぱい注ぎ込んでえ…!

ガ
ガ



春香…イクっ!

ドクッ

ドクッ

ゴボッ

ビ
ュ
ッ
ビ
ュ
ッ

ひっ…ひゃっ…

かはっ…あっおっ
おあああああ!

ビ
ビ

あ

かは

いあ…あ

春香のおなかの中に
どくどく入ってくるう

苦し…ダメ…ダメえ
春香の…おなか…もう
パンクしちゃうよお…

春香の…

はあ

は

あっ…おふっ…
おっおっおお…

き…きてるう…
け…けいすけの熱くて
濃いおちんぽミルクう

ガ
ガ

すごいね…

どんどん
溢れてくる…

はー

はー

はあ

はあ

ああ…
恥ずかしい…

はあ

けいすけに…私の身体…
ぜんぶ犯されちゃった…

ビク

でも…
気持ちよかった…

ビク

ビク

ビク

春香…

まだ時間はあるよ
全然収まりそうにないんだ
…いいだろう？

え…うん…

ぶちゅ

どろ…

ビクッ
ビクッ

ポッ

ポッ

ビク

いいよ…きて

…それじゃあ
場所を変えようか

屋根裏部屋って
見たことないだろ？
案内するよ

…屋根裏？

オレの部屋の前に
入口があるんだ

今は誰も使っていないから
今度はそこで…

はぁっ

はぁっ

ふっ

…春香

似合ってるよ

ん…ふう…

昔は親父が
使ってたらしいけど

死んでから放置気味
だったんで…
せつかくだからね

痛い…

ん…

ん…

ん…

ブル
ブル

ブル
ブル

け…けいすけ

この格好…恥ずかしい…
この部屋はいいたい…?

ただの
屋根裏部屋だよ

…完全防音のね
今はオレが使ってる

じゃあ春香…

さっきの続きを
はじめようか

おっ…おぶっ…

春香のアナルに
入ってたチンポ

春香の口で
キレイにして…

おっ…おぶっ…

んぼっ…んんっ…
はあっ…んはあ…

んっ…んぶっ…
おっ…ぼっ…

春香ののど奥
好きなんだ…

そう…根元まで全部
飲み込んでキレイにして

春香
どうしたの？

モジモジして…
もしかしてチンポ啜えて
興奮してきちゃった？

んぶ…んぶうっ…

ふっ…はあっ！

け…けいすけえ…

は…

は…

ふ…

コレ…

は…

コレ欲しい…

し…

し…

し…

おやおや春香

オマンコいじって
どうしたの？

…ココって？

んん…

ふふ…
しょうがないないあ
春香は…

欲しいい…

いやらしい娘だな

春香は…
それで春香はナニが
欲しいのかな？

オチンチン…

けいすけの
オチンチン…ココに
欲しいのお…

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ



う……うああーっ！

おっおっ……お尻いいーっ！

おっおっ

おっ……

ギューッ

おっ……おかしくなるっ

はあ

ギューッ

クリちゃん
ジンジンして……

アナル突き上げられて
お腹パンクしちゃううっ！

ぢゅぽっ

ぢゅぽっ

これからもつと色々
教えてあげるよ

この屋根裏部屋でね

春香は本当はアナルが
好きなんだろ？

わかってるんだ……オマンコ
寂しくないようにクリップ
挟んでおいてあげるよ……！

ひっ……ひいいいーっ！

はあ

おっ

おっ

ギューッ

んあ

うっ……うああああーっ！



あの日からずっと…

さあ春香

今日はなにを
しようか…？

私…

知りたいの…

けいすけのこと全部…

はー

ふー

け…

はー

ブル
ブル

けいすけの…

好きなこととしていいよ…

ブル
ブル

ブル
ブル

春香…

いい娘だ…

私は「あの部屋」を忘れられずにいる

あの部屋は
私と「彼」だけの秘密の部屋。
そして
私だけが憶えている
「彼」の本当の記憶が眠る部屋。







1990年

8月17日

けいすけのお母さんが
帰ってくるのは
夜だと言っていた。

それまでまだ時間は半日以上ある。

お姉ちゃんは近所のコンビニに
夕ご飯の買い出しに出かけている。
といっても歩いて片道20分くらい
かかる距離なのだが。

つかの間のけいすけと二人だけの時間。

私はその日お姉ちゃんに内緒で
「彼」に出会った…と思う。

「彼」のプレイは
私の想像を
遥かに超えたとても
激しいものだっ

最高だよ…その格好も
すこく似合ってるよ
千夏っ…！

おっおっ…

最高だよ…その格好も
すこく似合ってるよ
千夏っ…！

ふっ…

ザッザッ

ガ

はいっ…

あゝ……あゝあゝ

ガッ
ガッ

千夏つ

おまんこに
力入れてっ

うおっ！

すごい締め付けっ…
最高に気持ちいいよっ！

ザ
ザ
ザ

んっ…

んんんっ……！

んんっ…んんん！

ヒューマン

むつ…

ふぐ……うっ

ふい…おつ

んんっ

んむっ…ふぐっ

んぐつ…んつ

11/4

划

判

井

ぶっ

恥ずかしい…恥ずかしいよお

おふっ

んっ…ふ

おふ

縛られて…

精子お腹に入れたまま…

ん…

けいすけのオチンチン…

しゃぶられてる…

んふ

あゝあ…

千夏の歩いた後
こぼれた精液まみれだ

ちろろ
ちろろ…

ふー

ふー

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

千夏…急いで

その格好のまんまで
家の中散歩するんだから

おふっ

おふっ

オマンコから…

精子出ちゃってる…

んっ…!

んんっ…
い…いやあ…

もつとオマンコ
締め付けなきゃ

春香さん帰ってきたら
バレちゃうよ…?

おっおっおっ！

イクよ千夏っ…
飲んで飲んで飲んでっ！

ブルブル

けいすけは…

ザキッ
ザキッ

ガク ガク

ああ…

千夏の口の中に
射精するの…
気持ちいいよ…

ガク ガク

おっ…おっうっ！

おっ…おほほっ…
うほおっ…おっおっほっ
…おほほおっ！

ふーっ

ふーっ

ビクッ
ビクッ

ガク

んっ…んっんっ

んぐっ…おっうっ…おっ
んぶっ…んっ…おっ
んぼっ…んっ…んっ…

んーっ

ガク ガク

んーっ

お口の中に射精するのも大好きなんだ







それから私は…

ぐろお

千夏っ

千夏あっ

はっ

はっ

は

ふ

ふああ…

はーっ

けいすけえ
好き…



何度も何度も…

あっ

おっ

おおおーっ

おっ

あっ

おおああ!

お…おまんこ

こわれちゃうう!

ドクッ

ドクッ

びゅっ!!

びゅーっ!

びゅっ

びゅっ!!

けいすけの罰を受け続けた…

私はあの後
けいすけに
何度も出しされ
犯され続けた

はあっ...はあっ...
はあっ...ふあっ...

千夏のイキ顔を
見たくて何度も
射精したよ

千夏のおまんこ
チンポでかき混ぜられて
精液が泡立ってるよ

きっと春香は
道に
迷ってるんだよ

前にもそんなこと
あったから...

さあ千夏

本番は
これからだよ

結局
お姉ちゃん
帰ってこなかった

千夏はかわいいなあ

途中から挿入した
だけですぐイッて
しまうんだから

おおっ…イイ!

千夏のロマンコ
まだまだ全然元気だっ…
気持ちいい!

おほっ…ふほっ!

うほっ…うっ
ぐほっ…んほっ

ぐ

ぢゅぢゅ
ぢゅぼ

ガ
ガ

うっ…ぐっ…

さっきより激し…

んほお!

のどチンコに
当たってるの
わかるかい?

その表情も最高だっ
…ソクソクしてもっと
イジメたくなる!

ぢゅ
ぼ

ぢゅ
ぼ

ぶぼ
ぐ

おふっ!

おちんちん…

大きくなってる…

んふおっ!

おっ…んほほっ…
おっおっおっ…!

ぐほっ…おっ…おほっ
ふふおっ…おふおっ!

もつと…もつと奥に!
千夏ののどチンコの奥まで
挿入したいっ…!

ガ

は…吐きそう…

のど奥に亀頭がゴリゴリ当たってる…

唇裂けちゃう…

おっ！

おっ…ぽっ
おっ！

おっおっ…
ぶっ…おっ！

んっ…ぐえっ？

ぶっ…うぶっ…おっ
おほおっ…うほほっ

千夏っ
目を覚ましてっ！

ロマンコ擦れて
気持ちイイっ！

おぼっ

ぢゅぶ
ぢゅぶ

おっ

おっ

おっおっ！

うぶお…げ

うぶっ…ぶほっ
ぶぶおっ！

うほお！

うほえ！

狭くてなかなか
奥まで届かないけど
まだまだこれからが
本番だからね千夏…

ま…まだ！

何度も射精したのに
千夏のロマンコは何度
犯しても飽きない最高の
ロマンコだよっ…！

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ぐっ…えっ

がく
がく

がく

がく

がく



さあ千夏

次はイラマチオ
いってみようか

はーっ

はーっ

はーっ

え…

イラマチオ?

はーっ

べとあ…



おちんちんを

自分でのど奥まで
飲み込むことだよ

うそ?

手伝って
あげるよ…ほら

ブルブル

ほら…のど奥まで
入ったのわかるかい?

ふほおっ!

おほっ…おっ

こほっ…ぐほお!

おっ…おほお!

いままでののは
ディープスロット

逃げられないように今度は
後ろ手に拘束するからね

こんな太くて長いのを…

自分で喉の奥まで…?

は…入ってくる…!

苦し…

もつと奥までっ

もつともつともつと!

おっ…ううう…
おほっ…おほっ…!

おほおっ…おほっ…おほっ
おほっ…おほっ…おほっ

のど開いてっ
もつとのど奥までっ

あつ…おおっ

そうっ…
その調子っ…!

おっ…

おほっ

おほっ

おほっ

おっ…

おほっ



おおお…イクっ！

おっおっおっ…千夏！
精液食道に流し込むよっ
飲んで！飲み干して！
吐いちゃダメだよっ！

お…

おあ…

ガクガク

お…ふええっ！

ふふっ…ふふっ…ふふっ…
ぐふっ…ぐふふふっ！

ズロロ…

お

ふ

ぐえ

ふ

ふ

ど

ど

ガクガク

ピン

ピン

お…

おあ…

射精る射精るっ！

千夏のだ奥に
精液流し込むよっ！
どんどん流し込むよ！

ふほおっおふっ…ふほっ
ふほっ…こふほおっ！

こほっ…おっ！

そう…のだ締めて
のだ奥をキョと！

おほおっ…ふほおっ
おっおっおほほおっ！



あ…ママ?

うん…今日
そっちに帰る予定

ううん大丈夫

けいすけケン?
元気だよ

…千夏?

うん
二人とも元気
だよすこく…

1990/0817
15:25



それじゃあ
挿入れるよ千夏

うん

うん

早く早く

はあっ

はあっ



おぼろろ！

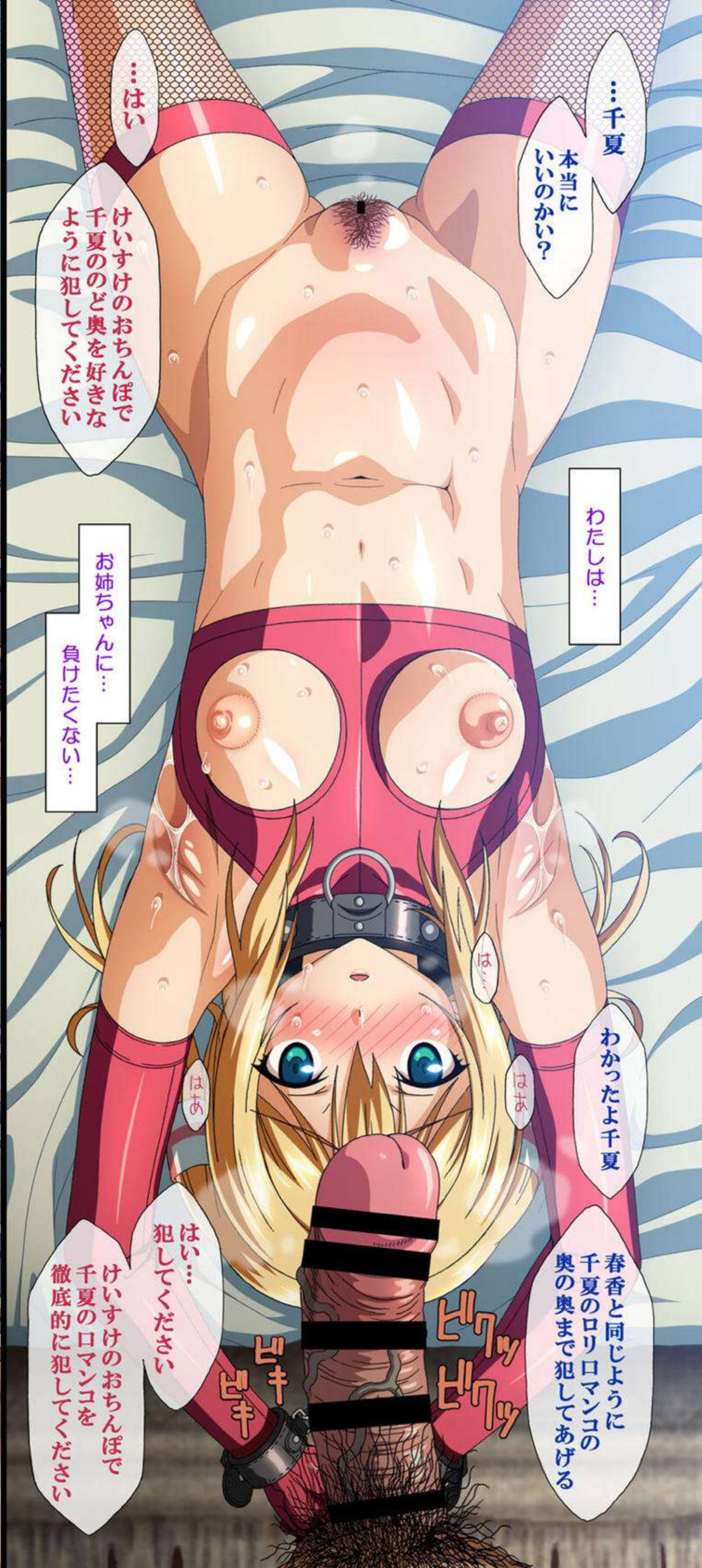
ぬるるるる

おっ

おっ

おぼろ

グリュッ



…千夏

本当に
いいのかい？

わたしは…

…はい

けいすけのおちんぽで
千夏の口奥を好きな
ように犯してください

お姉ちゃんに…

負けたくない…

わかったよ千夏

春香と同じように
千夏のロリロマンコを
奥の奥まで犯してあげる

はい…
犯してください

けいすけのおちんぽで
千夏のロマンコを
徹底的に犯してください

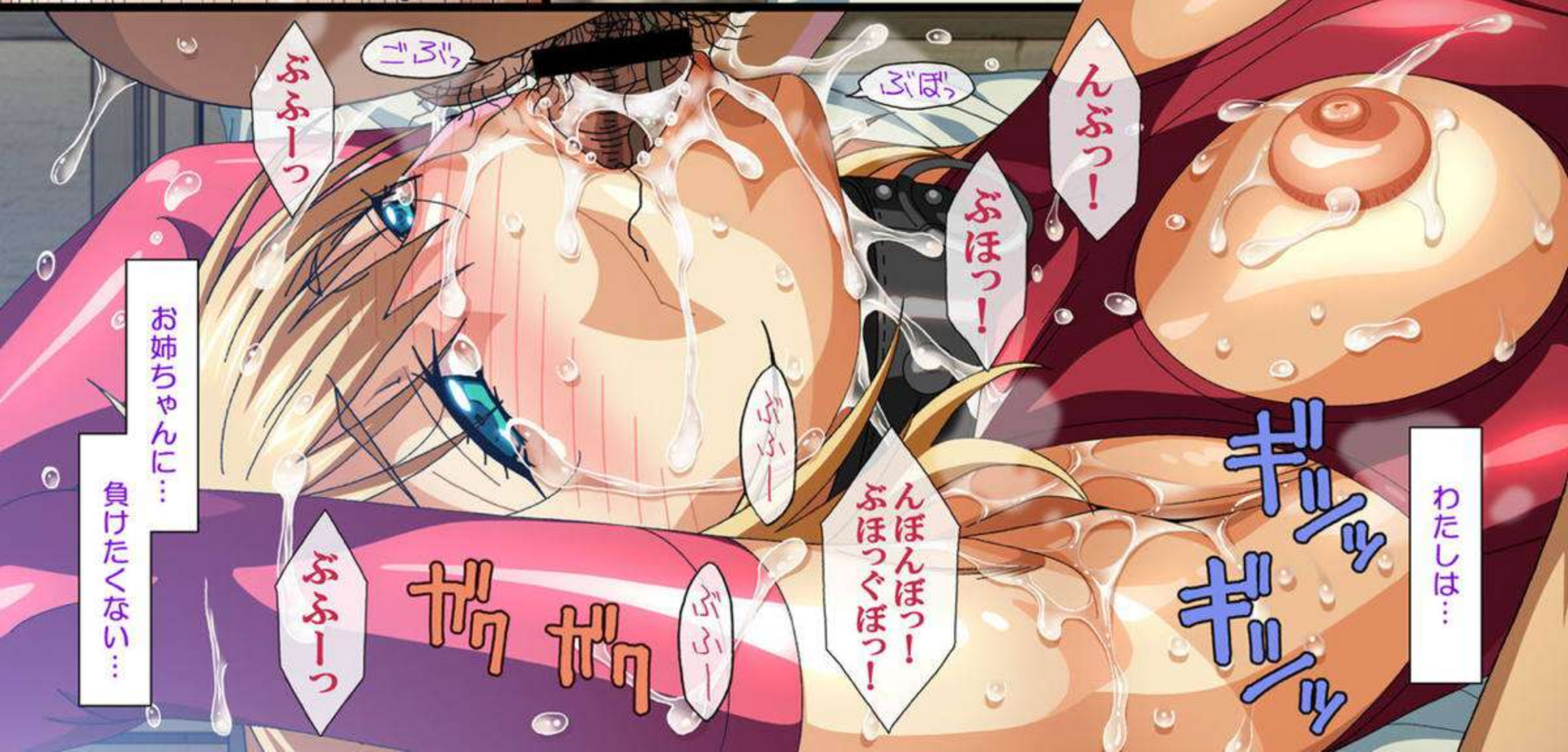
はあ

は

はあ

ピキ
ピキ

ピキッ
ピキッ



春香…

一目見たときから
君が好きだった

はー

はー

ふい

ギッ

ギッ

父さんの葬式で…

はじめて春香を
見かけたときから
一目ぼれだった…

ヒッ

ぐぼ

ヒッ

ぶぢゅ

わたし
泣いてたから…

気づけなくてゴメンね
愛してる…けいすけ…

ああ…

ん

は

はー

あ

ギッ

は

嬉しい…
けいすけ…





≡

は

は
っ

井ノ口

キッ

けいすけ…

は
？

大好きい…

はあ

712

7/11

おっおっおっ！

あ
あ
?

あゝ

い…イクつ…

子宮の中に直接注ぎ込むよ千夏あつ！



はあ

あつ

あつ...

おつ

あつ...

おつ!

おつ!

おおつ!

おおおつ!

かはっ!

くは!

奥まできて...子宮
破けちゃうっ...!

あつ

はあ

ガクッ

ガクッ

ガクッ

んあ

だっ...射精してえ!

けいすけの子種...いっぱい
千夏の子宮の中に注ぎ込んで
...妊娠させてえええっ!

ぐいっ!

ぐ!

ごほごほ

ごほ

ビュルルル!!

ビュル

あつ

あつ

ぎゃう

けいすけのこと好きになったんだもの...

たとえあなたが忘れてしまっても…

けいすけ…わたし

一目ぼれだったんだよ…

ギッ
ギッ
ギッ

パパのお葬式で…

はじめてけいすけと
出会ったときから…

ぢゅぽ

ぎゅっ

ぢゅぽ





ちゅ ちゅ ちゅ

ん...
お葬式...?
そうだったかな

ん

は

あ

ん

ん

ごぼ

ううん
いいの...

なんでもないの
わたしは忘れないから...
ずっとずっと忘れないから

ギリッ

わたしはずっと永遠に忘れない...



おおおおおっ！

また射精すよっ！
膣内に射精すよっ！
受け止めて千夏あつ！

ブル

ブル

ドクッ

ドクッ

ビュル

ビュル

ビュッ

ザッ

ザッ



千夏…

大好きだ

ちゅ
ちゅん

ん

好き♡

けいすけ
大好き

ん



うん…それでね

もうママのことは忘れて
しまってると思う…

うん…そう
だから「心配」しないで

え…ううん
なんでもないよ
言葉の綾



千夏は軽いから

このままリビンダ
まで散歩しよう

あ

ん

や

あっ…

は

やつ…

いつ春香が帰って
くるかと思うと…

ドキドキするよね！

ブルブル

ブルブル

ビッ

ビッ

いいよ
ここでする？

だめだめ…あつ…
やだあつ…おちんちん
ピクピクさせちゃダメ

ブルブル

いやあ…だめ…
こんな格好…

歩きたびに振動で
お…おしっこしたく
なつて…んんっ！

ビッ

ビッ

ギッ

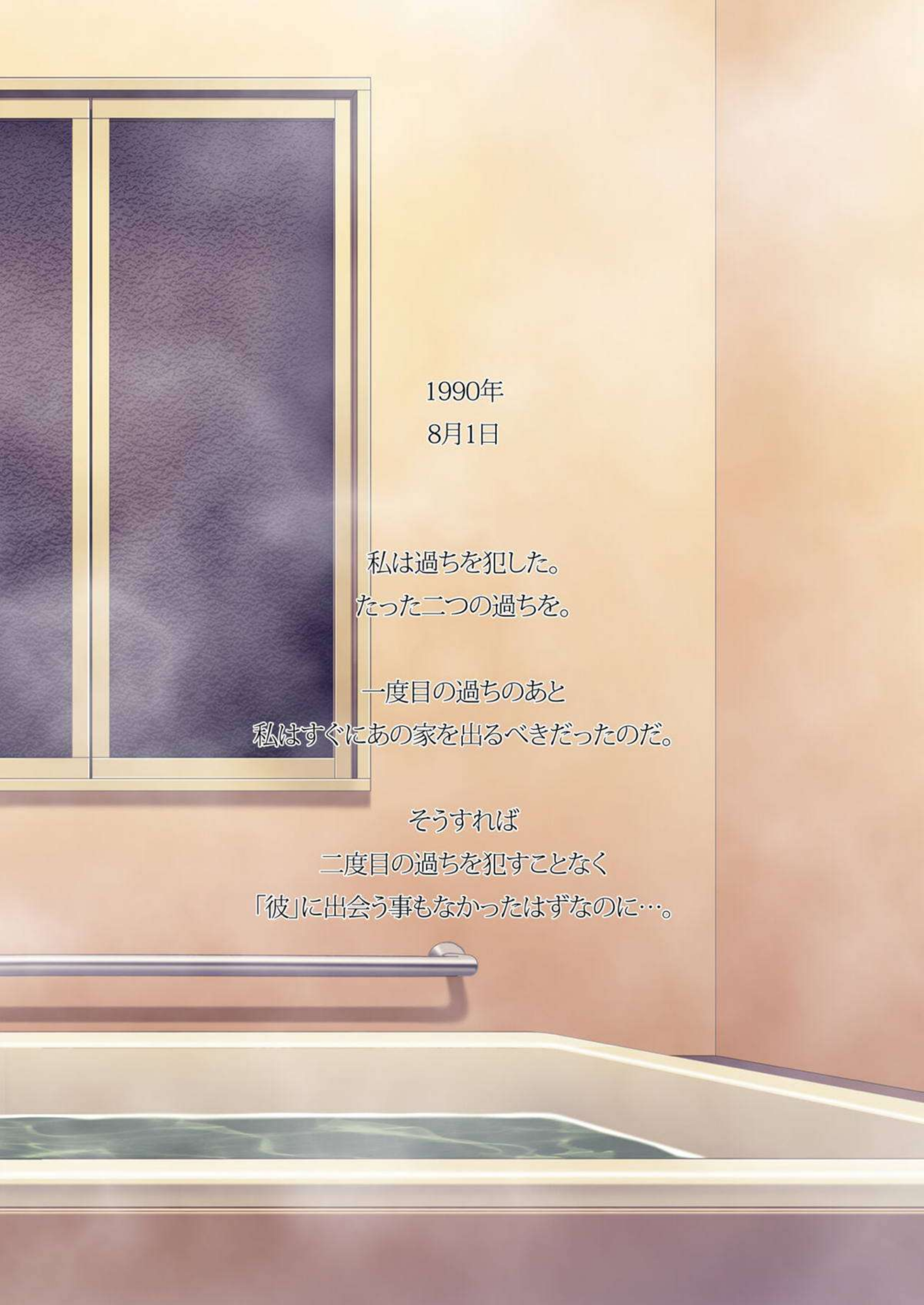
んああつ

お…おしっこ
出ちゃうう…！

ギッ ギッ





The background of the image is a scene from a Japanese anime. It depicts a bathroom with a light-colored wall. On the left, there is a window with a dark, textured frame and a gold-colored border. Below the window is a white bathtub with a silver faucet. The text is overlaid on the wall area.

1990年

8月1日

私は過ちを犯した。
たった二つの過ちを。

一度目の過ちのあと
私はすぐにあの家を出るべきだったのだ。

そうすれば
二度目の過ちを犯すことなく
「彼」に出会う事もなかったはずなのに…。

あの一夜限りの
過ちのあと
私は興奮しきった身体を
なんとか鎮めようと
一人シャワーを浴びていた

秋子さん

あの…

……

んふ

…どうしたの
まだ…眠れないの？

あら…

どうしたの
いきなり入ってきて…

あ…

ヒキ

いけないことだと知りつつも
彼の力強く勃起した
ペニスを見た瞬間に
自分の身体が条件反射的に
彼を求めて
火照っていくのを感じていた

どうしたの？

ス

私はあの時…

あらあら

キミの…

どんどん大きくなつていくね…

さっきあんなにエッチしたのに…

まだし足りないの？

あ…秋子さん

素直に帰るべきだったのだ…



彼の勃起した
ペニスの前に
私の理性は
あっけなく崩壊した

はち切れそう…

キミの精液…袋の中で
外に射精したがつてる…

はむ…キミの玉袋…
なんだかとても…
苦しそう…んぐ…む

ん…

ん…

ふー

ふー

フル

フル

ッッ

ッッ

んふ…むぐ…

すごいね…キミの
おちんちん袋…

ちゅっ

むぐ

むぐ

ちゅっ

ふい…

パンパンに膨らんで…

さっきあんなにおまんこの
中に射精したのに…

ん…

んふ

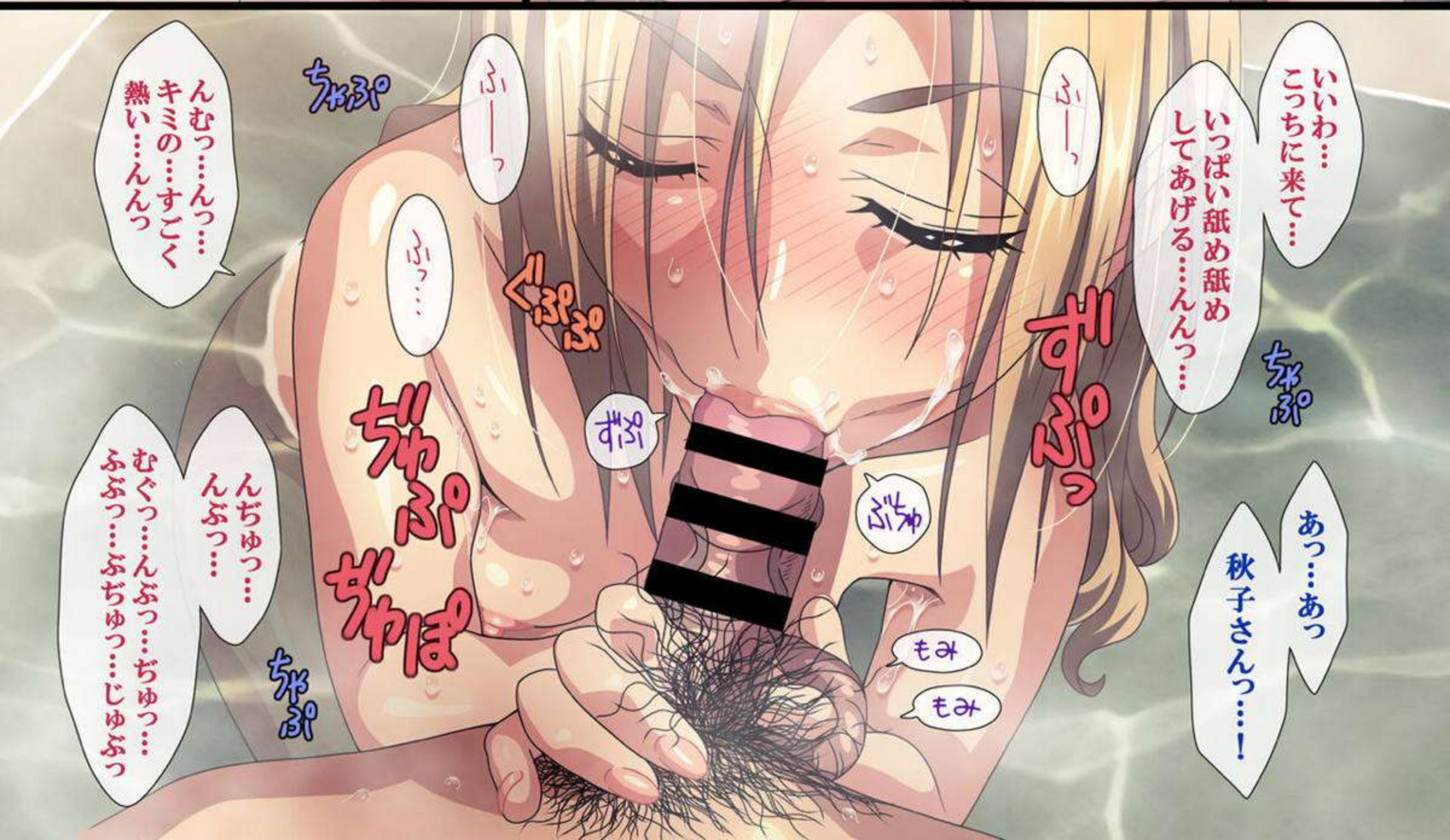
ッッ

ッッ

ふい…

ん…

一度火がついて
しまったこの身体は
目の前のペニスを
欲する事だけを
望んでいた



ペニスの大きさも
長さも硬さも暖かさも
舐えた舌の上の感触
さえもがあの人のモノに
良く似ているの…

んっ…

んぶっ…

むぶっ…

ふー

ふー

ふー

んんっ…

んぶっ…
すごいわ…

キミのおちんちん…
ビクンビクン脈打って…
すこく…元気よ…んぶっ

ぢゅぽ
ぢゅぽ

ぢゅぽ
ぢゅぽ
ぢゅぽ

ふー

んぶ…うれし

じゃあ私の口の中…
いっぱい楽しんでね…
ん…んぶっ…ぢゅ

ヒッ

ぢゅぽ

ヒッ

秋子さんの口の中…

舌がねつとりと絡みついて…
すこく気持ちいいです…

ぞく

秋子さんっ…

ぢゅぽ

ぶじゅっ…
むぐっ…んっ

気持ちよさそうにしてる
キミの顔…かわいい…んぶ
んぶ…ぶぢゅ…んっ

んっ…

んぶっんぶっ

んっ…

んっ…んっ…んっ
ぢゅっ…ぶぢゅっ

なにより彼のペニスの
二オイが忘れようのない
あの人の肉体の記憶を
否応にも呼び覚まして
私を虜にしよう





はあっ…はあっ…

困ったおちんちんね…
ちっとも小さくならないわ…

はー

ちゅっ

へっ

ぴちゃ

ぷる ぷる

はー

はー

ああ…秋子さん

ぐ ぐ

立派な
おちんちん…

精液まみれのおちんちん…
秋子が全部舐めとってあげる
んぶ…んじゅ…じゅ…

やっぱり…というか
当然というか…
すごく似ているの
あの人に…忘れられない
あの温もりに…

あ…

ふう

ん…さつき中出し
された精液…

けいちゃんに中出しされた
精液が…おまんこから
溢れてきて…んっ…ふ…

ん…

ん…

おまんこの中
ヌルヌルしてる…

ふい…

秋子のおまんこ…
またキミのおちんちん
欲しがってる…ん…

はあ

くちゅ

くちゅ

キュッ

…もう
止まらなかった

ね…

けいちゃん…

ふい…

いいのよ…

ん…

秋子のおまんこ…
めちやくちやにして…

迷うことも躊躇する
こともなく私は
ただ目の前の肉体を
欲していた

あぁっ！

はっ

イイっ…
いいわっ…！

かっ
かっ

あっ…

んんっ！
ち…乳首にそんなに
吸い付いちゃ…いやあ
んんっ…ふあっ…

んんっ

あ

んあ

かっ

はっ

かっ

んっ

すごくいいっ…！
奥まで届いて…んんっ

そうっ…そうよっ…
我慢しなくていいのよ…もっと
激しくいっぱい腰を動かしてっ…
んっ…そう…いいわっ…

んああ

ちゅぽ
ちゅぽ

ぽっ
ぽっ

ぞっ

あっ…いやあん…

ぞっ

あっ

駄目よ…
ミルク…溢れて
きちゃう…んんっ

あっ…あぁっ…
気持ち…いい…

んふっ…けいちゃん…そんなに
おっぱいむしゃぶりついて…
ああ…いいわ…もっと吸って…
もっとちゅうちゅうしてえ

んああ

ぬぽ

ずぽ

ずぽ

ぐぽ

ぐぽ

ぢゅぽ

今度は私が気持ちよくしてあげる…んっ

はあっ…ど…どう？
奥まで…届いてるでしょ…
んんっ…はあっ…ふあっ！

はあっ

んあ

やあ

ふああ

おまんこの…

いっ

んっ

や…

おっあっ

おまんこの奥まで
おちんちん届いてるっ…
けいちゃんのおちんちん…んっ
き…気持ちいいっ…んああっ

びゅるるっ

かくかく

ぎん

びゅるるっ

かくかく

ぎん

いやあ…けいちゃんが
吸い付きすぎるから…
動きたびに…み…ミルクが
溢れてきちゃうっ…

ぷく

びゅ

っはあ

おちんぽでおまんこズボズボ
する度に…おっぱいミルクが
ビュッビュッていつぱい…お乳から
溢れ出してきちゃう…！

んああっ

ほっ

ぐほ

ぢゅぽ ぐほ
ぢゅぽ ぢゅぽ ぢゅぽ

いまは溺れていたい…

いいっ！

ああっ…いいわ…
気持ちいい…

んあっ

ずっと忘れていたのに…んっ
忘れたつもりだったのに…はあっ
もうダメ…んっ…もう一生
忘れられないわ…んっ…ああっ

ああ…いい…
もつと…もつと

はあ

あっ

はっ

ぐほ
ぢゅほ

こいっ

ぐほ

Y

っほ

ぶほ

ぢゅほ
ずほ

きもち…

気持ちいいっ…！

はあ

はあ

もっとあ…

もつと挿入れてっ…！
もつと激しくしてっ…！
もつと激しく抱いてっ…！

もっと

加く

加く

せめていまだけは…

ふあっ

おかしくさせてっ！

今夜の事忘れられないくらいに
もつと気持ち良くさせて……！
もつとおかしくさせてっ……！

はあ

んあ

はあっ

はっ

んっ

やっ

はっ

んっ……

加く
加く

加く

はあっ……はあっ……
で……でも今夜……んんっ……
今夜だけよ……んっ……

何も考えずに……

いっ……

ただひたすらに

この快楽に溺れていたたい……

だけど……

だからこそ……
いっぱい愛して……！

今夜だけ特別よ……
ふっ……こっ……こんなこと
……本当はいけないこと
なのよっ……んんっ

んんっ

びゅっ
びゅるるる！

びゅっ

あぁっ…いい!

いいわっ…素敵…もっと
突いてっ…!もっとおまんこ
メチャクチャにしてえ!

はっ
加く

やっ

んあ

加く

いやっ

加く

ふあ

おまんこ…
溶けちゃう

けいちゃんのおちんぽ熱で
秋子のおまんこドロドロに
とろけちゃうわ…!

加く

うぁっ

加く

はあ

びゅ

はあ

加く

加く

はあ

おっ…おっ

あぁっ…ダメよ…
もうダメっ…

頭がどうにかなりそう…
気持ち良すぎて…おまんこの
ことしか考えられなくなるっ…

はあ

んあ

加く

ぢゅぽ

ぽ

ぐぽ

ぽ

ぢゅぽ

ぬぽ

精子ちようだい!

泡立ってぬるぬるの
けいちゃんの濃く旨ザーメン
ミルク秋子の膣と全身に
いっぱいふちまけてえっ!

ふあ

加く

おあ



お口にも
ちようだいっ...

良輔のザーメンミルクっ...!!
秋子のお口にいっぱい
射精してっ...飲ませて...!!

ああ...

はあ

はあ

ああ...あったかい

はあ

はあ

んあ...

ああ...
秋子さん

すごくエッチな
顔してる...

んあー

はー

ッッッ
ッッッ
ッッッ

べとお

はー

はあ

ふああ

射精してえ

身体中良輔の
精液でヌルヌルに
してえ...

はあ

はあ

ブル

ブル

いっぱい
射精してえ...

秋子の身体...良輔の臭いで
いっぱいにしてえ...たくさん
染み込ませてえ...ああ...

はあ

ずぼ

ぢゅぼ

ぐぼ

良輔さん…

はあ

はあ

良輔さんと同じ臭い…

ああ…幸せ…

けいちゃん…

まだ足りない…

それじゃあ…

まだ足りない？

もっと感じていたい

続きはお部屋で
ゆつくりと…ね？





ん…

んは

ちょっと
キツいかな…

私は…

千鶴の部屋で

妙なものを見つけた

千鶴ったら…
こんな下着を…

いやらしい娘

やだ
ちょっと垂れてきたみたい

鍛えなきゃ…

ん
むっ

…秋子さんっ！

キヤ！

むんずっ

むっ



もっと

エッチしたくなっちゃった

秋子のおまんこ

ふる
ふる

はっ

ふっ

はぁ

ふっ

はい

けいちゃんの好きな...

じん

じん

どんどん大胆になっていく

こんなこといけないのに

む
く

にちゃ

ぬちょ



あっ...

秋子さんっ...!!

あん

ビキ ビキ

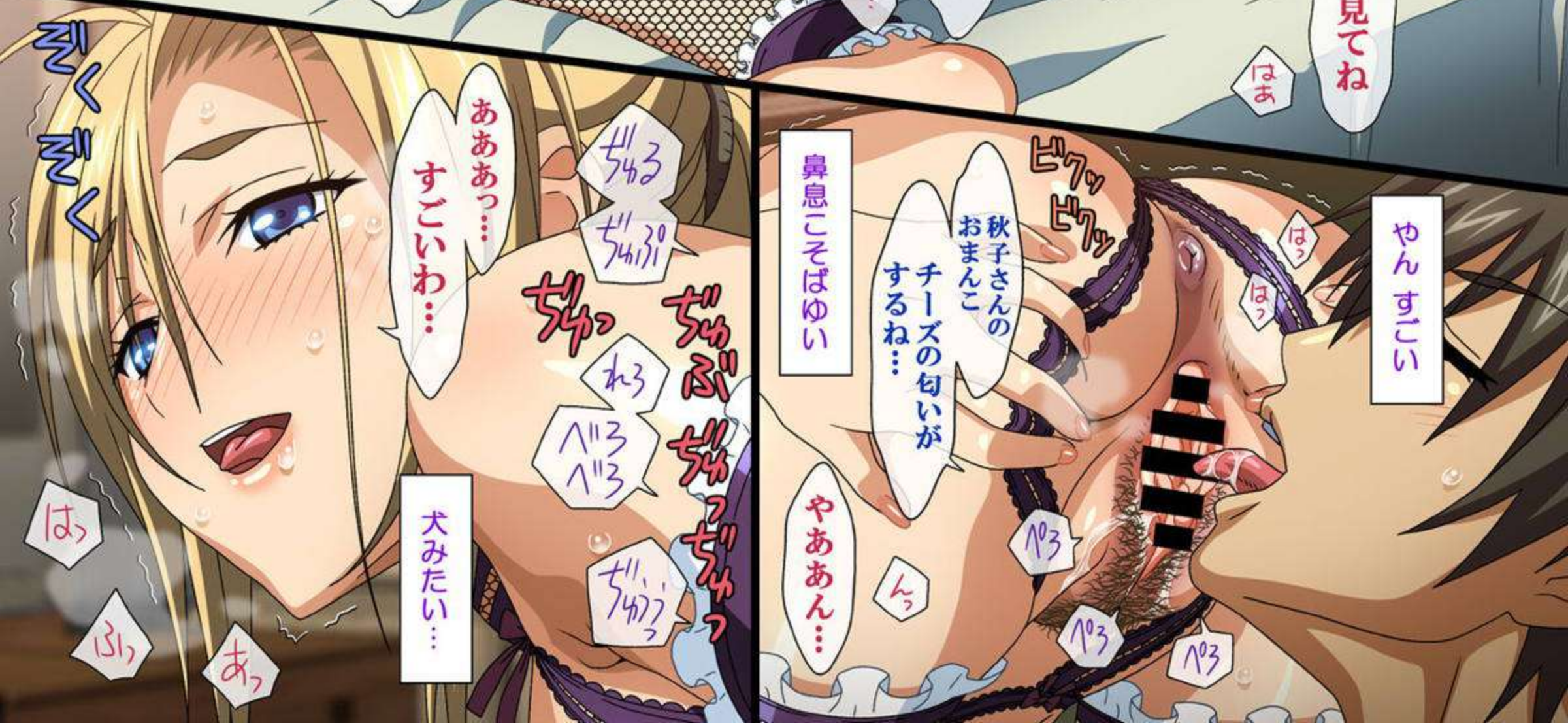
にちゃ...

だめよ

まだダメ...

ん...

ふ...





いつちゃ...うっ
つきやああ
ああっ!!!

ビチャ
ビチャ

はっ
んっ
ぞくぞく

ダメよダメ...
もうダメ...ダメえ!

いつちゃう
いつちゃう!

ぞくぞくぞく

気持ちよすぎて...

はあっ
はあっ

潮...
吹いちゃった...

けいちゃん
激しすぎよ...

...ん?

びしょ濡れ...

秋子さんが...
気持ちよくなってくれて嬉しい...

まあっ
こめんねけいちゃん
がばっ



あぁっ…

熱いわ…

はーっ

さっきは…

秋子がいっぱい
出しちゃったから…

いあっ

ぶはっ

良輔とだって

したことないのに

だから

秋子の身体に
いっぱいかけて

ぶはっ

ビュッ かは、 ビュッ

ビュッ

あ

ば

ガッ
ガッ

おほほ…

けいちゃんのおしっこ…

秋子にぜんぶ飲ませてっ…

こんなこと…

いっぱい…

ガッ
ガッ

はあっ

けいちゃんのおしっこで
秋子の身体おしっこ
まみれにしてっ…

ぢゅはっ

ぐはっ

ぬはっ

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

もうダメよ…

ねえ…

我慢できない

はーっ

ふーっ

ふーっ

はあ

はあ

ふーっ

秋子のおまんこが…

ん…

ふっ

ふっ

ふっ

ふっ

けいちゃんの

おちんちん欲しがってるの…

くぱあ

ん…

にちあ

ぬちあ

来て…

ね

気持ちよくして…

千鶴との約束…

守れそうにないかも…



二日前

心配性なんだから
千鶴は

留守番くらい
安心して任せて

……

なんだか…

急に不安になってきたわ…

その無防備さが…

とっても心配なのよ

けいちゃんの事も

ちゃんと面倒見るから

ね

はあ…

ふう…

ね…約束よ

圭祐の面倒
ちゃんと見てね

だいじようぶ

任せておいて

…すごく心配だわ

本当に本当に約束よ

もう…

ごめんね千鶴…

はあ

はあ

でも無理なの

だって

とっても気持ちいいんだもの

はっ

いいわっ…

わっ…

んあぁ

ガッ

ガッ

ガッ

はっ

けいちゃんの

おちんちん…

…

ふっ…

んあぁ

とっても
気持ちいいのお！

あっ…

奥まで届いて…

んっ…

あっ…

秋子の子宮…

ズンズン
突いてくるのおっ！

ふあ

はあ

ぢゅぽ
ぬぽ
ずぽ
ずん
ずん！

いっぱいきて…

秋子のおまんこに
けいちゃんの精液いっぱい
中出ししてえっ！

んっ

離れたくない

いつまでもずっとこうして繋がっていたい…！

はあぁ

ギン
ギン





ごめんね千鶴
約束…守れなかったわ…。





近頃寝不足がちだ。
起きてても身体がダルい。

寝ることで余計に疲れている気がする。

それに…



最近誰かに見られているような気がする。
特に理由はないがそんな気がする。

.....

気のせいだとよいのだが。

夢を見ていた

8月17日

なんだか
懐かしい夢を...

ぼくには
妹たちがいて

ぼくは
彼女たちと...

彼女たちと...

ん

ん

ん...

...なんだっけ?

...可愛い寝顔

んふ...

あ...

春香...さん

おはよう

そうだ
昨日ぼくたちは
三人で…

…って

ん？

けいすけくんの
おちんちん触ってるの

ちよつ…

ナニしてるの
春香さん…!?

朝から
こんなに元気

舐めちやおっかなー！

ええ——?!



これはもしかして
夢のつづきなのか？

な…な？！

くす

は…春香さん

その格好は…？

…ね

昔のように…

くっくく…！

むゅっ

ちゅ

ね…

憶えてない？

…よね

けいすけくん

憶えていないって
どういうこと…？

…

トロク

いっぱい愛して…

ああっ…
けいすけくん!

いいっ…気持ちいいっ…
突いてっ…もつと激しくしてっ…
もつとたくさん愛してえ…!!

ああっ…
は…春香さんっ…!!

はあ

あ…

や…

んあ

ガク
ガク

あ

い

ぐぽ

ぢゅぽ

ぢゅぽ

ぶぢゅ

ずぽ
ぢゅぽ

きてっ…!!

きてきて…もつときて
もつとたくさん…もつと
いっばい愛してっ…!!

ん

はあ

はあ

ガク
ガク

春香さんっ…!!
春香さんっ…!!

いやっ…

呼び捨てて…!!

はっ

はっ

ガッ ガッ

んっ…

出会った頃みたいに…

「春香」って…
名前で呼び捨ててえっ…!!

あっ

は…

春香…春香っ…!!

んあっ

やあっ

けいすけ…

けいすけ…!!
けいすけ…!!

もっとたくさん…もっと
いっぱい昔みたいに…いっぱい…
いっぱい愛してええっ…!!

きてえ…!!

はっ

んあっ

ああっ

昔みたいに…?
出会った頃のように…?



うっ…あぁっ！

春香っ…
またイきそうっ…！

射精^だしてえ…！

ああ…春香…いく

イク…イクイクイクっ…！

きてえ…！けいすけの
おちんちんミルク…

春香の子宮の奥まで…いっぱい
いっぱい注ぎ込んでえっ…！

う…あぁっ！
きてるうっ…！

けいすけのおちんちんミルク
…春香のお腹にいっぱい
いっぱい入ってきてるう…

ガッ

ガッ

ん…

あぁっ

はぁっ

おっ

はっ

ん…

や…

あぁっ

びゅっ

びゅっ

ドクッ

ドクッ

ごぼ

ぎゅ!

ぎゅ!

ヒュルルッ

ドクッ

んあっ

うあっ

やあっ

はっ

はっ

あぁ…

あぁ…

は…

あぁ…

んあぁ…



ん

え…ええーっ

しよう

けいすけ

…ね

バレてた…

お姉ちゃんだけ
なんて…ズルい



ギイイ

ガチャ

お姉ちゃん
お風呂空いたよ

あぶなかった…

リヤッ
借りちゃった

あ…千夏
早かったのね
うん わかった
今から入るね…

転ばないでよ！

キヤッ

クス

ドボン
ザッシャー！！

なに
やってんだか

だいじょーぶ

…これは夢だ
夢に違いない

んっ…

けいすけの
おちんちん…

お姉ちゃんの
味がする…(怒)

ふる

ふる

けいすけの…

ひざまずいて
しゃぶるの好き…

んっ

ぢゅぽっ

ぢゅぽ

ん…

ぢゅぽ

ぢゅぽ

ん…

ん…

ん…

おび

んっ

んっ

…憶えてるの？

…いや

さっぱり…

…

えーと…

千夏…その服は
いったい…？

言い訳できない…

春香さんと
同じことを聞く
それにこの快感…
夢…じゃないのか？



この感覚…
夢の中の記憶にしては
身体が覚えすぎている
気がするけど…

けいすけの…

おちんちん…

このニオイ…だめえ

ねえ…けいすけえ…

ほしい…もうガマンできないよお
おまんこがすごく寂しがってる…

おちんちん…
好き…

ぬるぬるミルクセーエキで…
身体中べとべとだよお…

はあっはあっ

はあ

ん…

ん…んん

ち…千夏の…おまんこに…けいすけの
おちんちん…挿入れてください…んん

…どうしたの？

ん…

ん…

ん…

いじわる…

ぼろん

べとべと

ふー

はー

はー

はー

すん

すん

ああ…

はー

はー

ん…

あー

ふー

はー

びん

びん

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

にちゅ

ぬちゅ

どろお…

なんだろう…
身体が勝手に
激しさを求めてる…！

あぁっ…いいっ！

けいすけのおちんちんっ
千夏のおまんこの中で…
いっぱい暴れまわってる！

はっ…

やあ…

はぁっ…はぁっ

千夏…千夏ぁっ！

ぐぽ
ぢゅぽ

ぎゅっ

ぢゅっ

ぎゅっ

ぢゅぶ
ずぶ

いっぁ…

硬い…太い…
気持ちいいっ…！

ひぁっ

はっ

ガッ
ガッ



おちんちんっ…

おつきくなってきた…
いいよ…きて…きてえっ!

うあ!

んっ

千夏の子宮なかにつ…!

あー

あー

けいすけの子種っ…いっぱい
いっぱい注いでくださいっ!

はっ

ガッ

ガッ

はっ

はっ

はあ

ガッ

きてきてちょうだい…!!
千夏の子宮にいっぱい射精して
…孕ませてええっ!

い…イクよ千夏!

はあっ

千夏の
ミルクタンク…

けいすけのチンポミルクで
いっぱいにしてっ…!

ガッ

ガッ

んああっ

気持ちいい…!!
今はそれだけしか
考えられない…!!

うああーっ…!!

きてるっ…きてるよお…
けいすけのミルクセーエキ…
どくどく千夏の中に届いてるう!

けいすけ…

私の身体で

思い出してほしい…

いっぱい射^だ精してえ!

千夏のお腹…
けいすけのチンポミルクで
いっぱいにしてえっ…!!

ドクッ! ドクッ!

ドクッ! ドクッ!

脈打ってるっ…

けいすけチンポ
千夏の中で脈打ってるう!

おっ…おっおっ
千夏ああっ!

は—

ぎりりっ

ぎゅむ

ガッ

ガッ

ガッ

は—

千夏あ…!!

気持ちいい!

生まれたての子種…
すこくあったかくて…千夏の
お腹破裂しそうだよお…!!

んん…

…

びゅるるるっ

びゅ

びゅ

ビキ

ビク

は—



ああ…

これから私たち

…何度

同じ夏を繰り返すのだろう



……

私はまだいい

たくさんの思い出をもらっている

千夏よりも

出会った時から

失うまでの大切な時間を…

…この終わらない



A vibrant field of sunflowers with bright yellow petals and dark brown centers, growing on tall green stems with large, heart-shaped leaves. The field stretches towards a range of green hills under a bright blue sky with scattered white clouds. The overall scene is a cheerful representation of a summer day.

…夏の日々を。



SISTERS

～隠された記憶～
2012～2015 R

■発行:マキノ事務所
■著者:滝美梨香
■配信日:2024年1月27日

※本書の無断複写、複製。転載、WEB上へのアップロードを禁止します※



SISTERS ～隠された記憶～ 2012～2015 **R**



MAKNOJIMUSHO PRESENTS